

第7回西脇市教育振興基本計画策定会議 会議録

開催日時	令和6年 1月30日 (火) 午前 10時 00分 ～ 11時 00分
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の名前又は人数	10人
欠席委員の名前又は人数	1人
出席職員の職・名前又は人数	12人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	2人
議題又は協議事項	1 第4期教育振興基本計画(案)に関するパブリック・コメントの実施結果について 2 第4期教育振興基本計画(案)について
会議の記録(概要)	
発言者 教育長	<p>○ 開会</p> <p>○ 教育長あいさつ</p> <p>こんにちは。本日の協議内容については、先ほど次第の説明もあったが、一つは第4期西脇市教育振興基本計画の案について実施したパブリック・コメントの結果報告をさせていただく。そして、本基本計画の確定をお願いする。</p> <p>この基本計画も7回目ということで、いよいよ大詰めである。最初の頃、国の教育基本計画の紹介があったことを覚えている。改めて振り返ると、国の教育基本計画の掲げているものは2つある。一つは、持続可能な社会の作り手を育成すること。そしてもう一つは、日本社会に根差したウェルビーイングの向上。こういう大きなコンセプトの下に計画が作られ、その計画を踏まえて各県・市において基本計画策定に取り組まれているところである。その挨拶、はじめの文にこんな言葉があった。教育こそが社会をけん引する駆動力の中核を担う営みであると。また、教育こそが一人一人の豊かな幸せな人生を社会の持続的な発展に向けて極めて重要な役割を果たしている、そんな文言もあった。教育の持つ意味、果たす役割、そしてこれからの羅針盤として</p>

	<p>この計画が位置づいていくであろうということを伝えていた。この西脇市教育振興基本計画が、今後が見通せないこの時代において、西脇市の教育が進むべき道を照らし続けてくれる灯りとなってくれることを、期待するものである。本日の策定会議が最終会議になろうかと思う。仕上げに向けてご協議いただき、5年後への思いや期待をこの計画に入れ込んでいただくようお願いして開会のあいさつとさせていただきます。</p>
	<p>○ 協議等</p>
	<p>○ 議事(1) 第4期教育振興基本計画(案)に関するパブリック・コメントの実施結果について</p>
事務局	<p>口頭説明</p>
会長	<p>パブリック・コメントはなかったとのことだが、前は5～6件あったと思う。西脇市の他の計画の状況はどうか。</p>
事務局	<p>同時期に福祉関係の計画が他に2つあったが、そちらは多少意見があった。</p>
会長	<p>何かご意見等はあるか。</p>
	<p>○ 議事(2) 第4期教育振興基本計画(案)について</p>
事務局	<p>資料に基づき説明</p>
会長	<p>最終の案について、説明があった。今までの皆様のご意見を盛り込んでいただいている。全員の方に順にご発言いただきたい。</p>
委員	<p>今私は、高校一年生の女の子、小学校6年生の女の子、小学校4年生の男の子、3人の子育て中である。この前、連合PTAの市議会議員と語ろう会があった。その中で市議会議員の方をお願いしたことが3点ある。1点目は、奨学金制度の復活。奨学金制度の中でも偏差値が70以上の子には大学の学費を無償で全額免除してあげてほしい、その代わりに3年間～5年間西脇市内で働きなさいという条件付きである。今、各病院は看護師の青田買いをされている。能力のある子を西脇市に置いておくことも、一つの手だと思う。将来のきれいごとばかり並べずに、露骨にそのような優秀な人材を西脇市に残していけば、西脇市の企業も発展し、働く場所ができれば家族も増えて人口も増えてくる可能性がある。</p>

	<p>もう1点は、低所得者の定義は年収300万円以下だと思うが、例えば私が500万円の年収として、子どもが3人いる。低所得者の方で子どもが1人の場合、そこには補助金なりいろいろな手当てがあるが、私の子どもには手当てがない。そのような、ひとり親世帯・低所得者世帯の概念を取っ払って、子ども1人という考えを持ってもらえると、我々親は助かる。</p> <p>それともう1点は、学力の低下について。西脇市は兵庫県平均より下である。これを補おうと思えば、学校教育の中では不可能だと思う。学力向上を図るのであれば、塾代の補助等で学力を底上げするべきだと思う。学力が上がれば、いろいろな職業に就ける。偏差値70以上の子が増えれば、そのような子達が西脇市で働いてくれる。その3点をお願いした。</p>
会長	この振興基本計画に対する期待のようなものはあるか。
委員	正直、ものすごく素晴らしいと思った。現実味があると思っている。
委員	<p>この会に参加させていただき、こども園関係の代表者として意見を述べてきた。一番元になる部分での教育を担っていると思っている。そこでしっかりとしたものを子ども達の身につけさせて小学校へ送り出すことが、大きな使命だと思っている。この会に参加していく中で、そういう思いが強くなった。この計画と同時進行で、園小の接続カリキュラムを作り上げた。次年度から実施に移していく。こども園での教育について小学校の先生方に理解していただき、スムーズに接続することが大きな目的である。小学校の先生方全員に理解していただくには時間がかかるので、継続していくことで共通の理解をもつことができればと思う。こども園と小学校の先生の交流が必要で、現実を見てもらわないとわからないことがたくさんある。先生方の時間に余裕のあるタイミングで、少しずつ進めていければと思う。中身が実際に動かないと意味がないと考えている。</p>
委員	<p>私は5歳、3歳、1歳の母で、1番上の子も今年の4月から小学校に入学する。1番上の子が2か月の時に西脇市に引っ越してきたため、西脇市民としての歴も浅く、この会議に参加するお話をいただいた時に不安もあった。実際に参加させていただき、教育の基本理念や方針を知ることができたことは、自身にとって大きなことであった。意見を出し合っってしっかりしたものができたことに、喜びを感じている。神戸市から転居してまず感じたことは、昔から西脇市に住んでおられる地の方のほうに意外とこの土地に愛着がないことである。自然が豊かなところや、人と人との繋がり、地域の温かさに当たり前すぎて気づいていないのか、思いやりの心や故郷を愛することを、自分の子ども達や周りにも気づいてもらえればと思った。この会議に参加させ</p>

委員	<p>ていただいてすごく勉強になったし、周りのお母さん方と教育についての話をする機会も増えたので、有難かった。</p> <p>委員のお話を聞いて、私もすごく嬉しくなった。私は加東市から西脇市に移り住んで50年近くになるが、今のお話を聞いて原点に立ち戻れたような気がした。</p> <p>前回の計画と比較して、少しずつ改良されているところがあった。25ページの重点目標3の終わりから2行目「社会的包摂の観点で踏まえた学びの機会を確保するとともに」の「社会的包摂」がわかりにくい。これを「あらゆる人を尊重するという観点を踏まえた～」に変えたほうが、わかりやすいのではないか。</p>
委員	<p>最初に国の計画を見た時に驚いた。ただただやっていけるのか、心配があった。計画は地に足がついたものでなくてはならないことが回を重ねるにつれてわかり、最終的にわかりやすく明確なプランになったと思う。私は西脇市から他市に転居した者だが、育ってきた西脇市に愛着がある。就学前教育の理解も随分と深まってきた。行政の方達も認識を深めてもらえたのではないかと、安心した。子ども達が幼少期から健康やかに成長してくれたらと思う。</p>
委員	<p>自分なりにテーマを持って読んでみたが、自分の勤務している学校の入学生が来年は11人しかいない。みんな戦力になってくれないと、学校もなかなか動かない。これは本校だけでなく、町全体が同じ状況だと思う。高齢者も外国人も障害のある人もみんな戦力になってくれるような仕組みなり考え方を、再度頭に置いて暮らしたいと思っている。人間が少ないならICTも必要だと思う。そしてそれを子ども達だけじゃなく、障害のある人や高齢者にも広げていくことができないかと考える。自分の父親も97歳で家にいる。本が読めるが、なかなか本を買いに出かけられない。週に一度はデイサービスに行くので、そういうところへ図書館から本を届けていただければと考えたりする。いろいろな仕組みの力を借りながら、できるだけ長く多くの人が働き続けて学び続けて楽しみ続けられるよう、道標になるようなプランになってほしい。</p>
委員	<p>本日、西脇中は2年生の学年閉鎖が始まった。トキソプラズマ感染症が増えた。先生方もこの3～4年でリスクマネジメントが鍛えられ、手際よくできた。学校は、こういうことプラスいじめの対応等、とにかくリスクマネジメントだけである。授業プラス入試に加えて、インフルやコロナの感染対応、それに新たな県や国の施策もかぶさってくる。そのような中で、疲れた顔をして子どもの前に立つと、子どもは大人の鏡なのでバネのように反映する。だから、いかに先生方に上機嫌で教室に行ってもらうかがテーマだった。今、学校の教育文化の曲がり角にきている。例えば、ICTの活用、コミュニティスクールの本格化、さらに部活動の地域移行、多様化・多文化共生</p>

委員	<p>等、現場の先生方の研修を行っていかうというところである。そこでこれを見た時に本気でやるしかないと思うのが、49ページの重点目標2「西脇市がまるごとつながり、支え合う教育の推進」である。今まで教師は授業のプロという意識があるのでそれで頑張ってきたが、ここからはチーム西脇として丸ごと繋がって支えあうことを本気でしないと、お互いに責任のなすりあいをするような文化では苦しいと思う。チームで推進していければと強く思った。</p> <p>基本計画案は内容もまとまっていて、素晴らしいものだと思う。私は、重点目標3「全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進」が重要だと思う。巷でもインクルーシブ教育とよく聞く。多様性、多文化、そういうものを全て包括したものを今後は大切にしていかなければいけない。それと、時代の流れが早いので、今計画していることも5年の間で変わっていくような感じがする。西脇市に良い人材を残すためには、西脇市自体の力が大切だと思う。市の魅力を活かして、そこから新たな行動力を生み出すことがこれから大事だと思う。今までは揃える教育だったが、これからは伸ばす教育に、という言葉がとても響いた。それぞれの個性を伸ばし、そこから新たな行動力を生むことで西脇市が豊かになることが理想だと思っている。企業は今までとは違うことを求めている。学力や数値化されたものが優秀だから良いのではなく、人間力をみられている。行動や話し方、いかに会社のニーズに合っているかが大切だと聞いた。そういうところを伸ばしていくことが、今後の教育には必要だと感じている。</p>
副会長	<p>皆さんがおっしゃったこと全て感じている。大変見やすい冊子になり、これなら手に取ってみようという思いがある。学校教育でいわれている働き方改革に、これを活用できるのではないかな。先生方が教育の進め方で迷われた時に、これがある程度のバイブル的なものになるのではないかな。先生方は安心感が持てるような冊子になったのではないかなと思う。</p> <p>10年ほど前だが、幼稚園協会の先生方とお話しする機会があった。その時に、幼稚園と小学校、中学校の接続で悔やまれたことがあった。その当時、幼稚園では絵具を使って絵を描く教育をしていたが、小学校ではまたクレヨンから始めている。これでは、何のためにそこまでやってきたのかというジレンマに陥る。小学校ではクレヨンではなく、絵具から進めてほしいと聞いた。実践教育の場面においても、連携してもらえればと思う。そのためには、西脇市の教育委員会の学校教育の進め方がきちんとしていることが重要だと考える。</p>
会長	<p>この教育振興基本計画には前回も前々回も委員として参画したが、今回は変化が多い。コロナ、ICTの普及、働き方改革、地域移行等、かなりいろいろな変化があり、そ</p>

	<p>れに対する対応が求められている。それを実現していくために、今回は市民調査をベースに作ったことも一つある。</p> <p>非常にわかりやすく書かれており、特に測定指標が都度入れられている。従って、それを委員会としては追いかけていただきたい。あるいは、市民の皆様も目指すべきところとして理解しやすいのではないか。測定指標は、努力すればできるレベルだと思う。ぜひこの案に沿って毎年の事業を展開し、良い教育、良い西脇市を作っていただけたらと思う。</p> <p>委員の皆様からご意見をいただき、基本的にこの計画案に大きな変更はないと思う。ただ、一点提案があった。その他の文言のチェックも再度必要だと思うので、私と事務局にご一任いただき、この案で確定したいと思うが異議ないか。</p>
委員一同	(異議なし)
会長	<p>それでは、第4期教育振興基本計画を確定し、教育委員会に提出したい。ご意見を元に修正する点については、私と事務局にご一任いただきたい。</p> <p>それでは、本日予定していた議事はこれで終了となる。事務局にお返ししたい。</p>
事務局	<p>○ その他</p> <p>事務局連絡として今後の予定を説明したい。本日取りまとめていただいた第4期教育振興基本計画は、2月16日開催の西脇市教育委員会で審議の上、決定したい。その後、3月の市議会へ報告する。</p> <p>○ 教育長閉会あいさつ</p> <p>○ 閉会</p>